国会事項

開会式

第百七十六回国会の開会式は、十月一日天皇陛下の御臨席のもとに参議院議場において行われた。

衆議院議長は、次の式辞を述べた。

天皇陛下の御臨席を仰ぎ、第百七十六回国会の開会式を行うにあたり、衆議院及び参議院を代表して、式辞を申し述べます。

今日、わが国をめぐる内外の諸情勢はまことにきびしいものがあります。

われわれは、この際、わが国の現状を深く認識し、緊急に解決すべき幾多の重要問題に対処し、すみやかに必要な施策を講じて、国民生活の安定向上につとめるとともに、国際社会において一層大きな役割を果たしていかなければなりません。

ここに、開会式にあたり、われわれに課せられた重大な使命にかんがみ、日本国憲法に基づき、おのおの最善をつくしてその任務を遂行し、もって国民の信託にこたえようとするものであります。

次に、天皇陛下から次のおことばを賜った。

本日、第百七十六回国会の開会式に臨み、全国民を代表する皆さんと一堂に会することは、私の深く喜びとするところであります。

ここに、国会が、国権の最高機関として、当面する内外の諸問題に対処するに当たり、その使命を十分に果たし、国民の信託にこたえることを切に希望します。

衆議院

議事日程

十月一日の議事日程は次のとおり。

議事日程　第一号

平成二十二年十月一日（金曜日）

午前十時開議

第一　議席の指定

第二　会期の件

第三　常任委員長の選挙

一　国務大臣の演説

辞令

（記録部副部長）衆議院参事　柏原謙一郎

（管理部第二議員会館課長）同　大海恵二郎

（管理部自動車課長）同　山崎　照夫

願により本職を免ずる（各通）（九月三十日）

参議院

議事日程

十月一日の議事日程は次のとおり。

議事日程　第一号

平成二十二年十月一日（金曜日）

午前十時開議

第一　議席の指定

第二　常任委員長の選挙

第三　会期の件

第四　国務大臣の演説に関する件

政府特別補佐人承認

九月三十日西岡議長は、菅内閣総理大臣から申出のあった次の者を、第百七十六回国会政府特別補佐人として承認した。

人事院総裁　江利川　毅

公正取引委員会委員長　竹島　一彦

公害等調整委員会委員長　大内　捷司

国立国会図書館

辞令

（調査及び立法考査局長）国立国会図書館専門調査員　塚本　孝

調査及び立法考査局外交防衛調査室主任事務取扱を命ずる

（調査及び立法考査局外交防衛調査室主任）同　松尾　和成

調査及び立法考査局外交防衛調査室付を命ずる

（以上十月一日）

人事異動

内閣

○内閣総理大臣海外出張

内閣総理大臣菅直人は、九月二十二日アメリカ合衆国へ出張のため出発した。

○内閣総理大臣海外出張

内閣総理大臣菅直人は、アメリカ合衆国へ出張のところ九月二十五日帰朝した。

（内閣官房内閣情報調査室内閣衛星情報センター技術部管制課長）内閣事務官　菅原　正行

任期の満了により平成二十二年九月三十日限り退職した

退職手当は支給しない

（国家公務員退職手当法第十九条第三項適用）

（内閣官房内閣情報調査室内閣衛星情報センター副センター所長）同　霜田　俊郎

任期の満了により平成二十二年九月三十日限り退職した

退職手当は支給しない

（国家公務員退職手当法第十九条第一項適用）（以上九月三十日）

公正取引委員会

（審判官）内閣府事務官　中出　孝典

辞職を承認する（九月二十九日）

財務省

（主計局総務課主計事務管理室長）財務事務官　山本　三夫

願により本官を免ずる（九月三十日）

叙位・叙勲

○叙位

従五位に叙する

朝比奈　學　小林　政雄

西山　廣　吉岡　政司

正八位

正六位に叙する（各通）

虻川　專一　木村　司

下田　芳弘　豊田　忠文

従六位に叙する（各通）

瀬下　三郎　橋本　梅雄

三浦　昭二　山崎　幸作

正七位に叙する（各通）

西頭　繁章　田中　政良

従七位に叙する（各通）（以上八月二十三日）

藤井　道男　福森　史郎

正五位に叙する

今井喜久男　土居　吉郎

長坂　政男　山崎　林生

従五位に叙する（各通）

柿沼　淳一　神山　弘

赤羽　敏郎　黒川　邦夫

越沼　敏雄　下原　康雄

鈴木　正樹　西脇　章夫

正六位に叙する（各通）

杉野　正俊　佐藤　恭治

由川　二郎　中村　朝啓

岡山　宗二　立川　定男

橋本佳壽夫　町田　康雄　吉尾　芳郎

従六位に叙する（各通）

（埼玉県警部）

石堂　宰　井手九州男　池澤　勉

真砂　幸吉　吉澤　静雄　海老名末男

正七位に叙する（各通）

（警視庁警部補）

芹川　公人

従七位に叙する（各通）（以上八月二十四日）

山本　信行　佐藤昌一郎

従四位に叙する

佐藤　元彦　森　清

正五位に叙する（各通）

石原　見恵　米田　明彦

従五位に叙する（各通）

伊藤　進　大澤　憲治　尾崎　守男

加藤　文夫　鯉渕　一郎　瀬川　正雄

松島　一郎　皆川　春男　渡邉一三郎

正六位に叙する（各通）

伊藤　克彦　大河原清一　神谷　壯榮

小亀　隆彦　坂元　宣則　佐藤　正直

清水　賢　田中　吉男　西尾　壽郎

森田純之助

従六位に叙する（各通）

池田　行夫　釆井　重雄　迫　博

正七位に叙する（各通）

新納徳太郎　吉葉　章一

従七位に叙する（各通）（以上八月二十五日）

荻野　卓司

正五位に叙する

小池　正一

従五位に叙する

佐藤　正和　橘木　良則　森谷喜右エ門

従六位に叙する（各通）

芦原　久雄　田村　尚義

柳川　一男　渡邉　弥一

正七位に叙する（各通）（以上八月二十六日）

石毛誠太郎

従六位に叙する（八月二十八日）

後藤　秀雄

正七位に叙する（八月三十一日）